

氏名：廣野 秀幸

所属：理学部 数理科学学科 2年

派遣期間：2015年9月8日～9月22日（15日間）

◆日本語教育・指導内容

1日2回 ①14：30～16：00（90分）

②16：30～18：00（90分）

英語と日本語で説明

アドバンスクラス

小学一.二.三年生の漢字

ラトビアの生徒は日本語で会話ができたり、文章が書けたりするので、次は漢字を知りたいという生徒が多くなります。自分が教えた5人の生徒は、小学一.二.三年生の漢字の読み書きができていました。まず書き順、音読み、訓読み、その漢字を使った熟語を教えました。一回の授業で教えられる漢字は、20～80個と各個人によって習得の早さは異なっていました。

また、会話を練習したいという人もいたが、文化の違いによりトピックが合わないことがありました。

◆日本語教育、指導以外の交流活動

自分は、15日間の滞在中、8日間は日本語クラス、7日間は休日でした。日本語クラスがあるときは、大学に行く→授業をする→日本語クラスの生徒と一緒に晩御飯を食べる→ホテルに帰る→寝る。このような一日でした。晩御飯は、リドというラトビアの伝統料理屋さんで食べる事が多く、とてもおいしいものばかりでした。また、ラトビアのファストフード「ペルメニ」は、水餃子みたいでおいしかったです。それほど高くないので、何回も食べに行きました。

休日は、リガの旧市街を観光したり、隣国のリトアニアに行ったりしました。リトアニアには、4,000円程度で行くことができ、5人でバスに乗って安いホテルに泊まりました。

会話は、英語と日本語でした。日本語クラスの生徒は、12～15人程度であまり多くないので、ほぼ全員と仲良くなることができました！！ですが、日本語をしゃべることができる人は数人しかいないので、英語での会話も多かったです。

最後に岩崎さんをはじめとする国際交流室のみなさん、父さん、母さん、様々なサポートありがとうございました。